

今回の訪問先



東京理科大学

先進工学部 生命システム工学科
吉田 優 准教授

研究テーマ | Subject of Research

ライフサイエンスを加速させる有機合成化学

研究内容

ライフサイエンス研究を加速する手法や分子を開発するため、有機合成化学やケミカルバイオロジーに関して幅広く研究しています。特に、多彩な元素の特性を引出す独自のアプローチのもと、個別の課題解決だけでなく有機化学や多様な関連分野に革新をもたらす新技術の創出を目指しています。

ライフサイエンスに関連する種々の場面で、さまざまな有機化合物が役立っています。ですが、実際には「こんなことできたら便利なのになあ...」と思う場面に頻繁に出会います。こういった際、データベースを調べても解決策が思い浮かばない課題はそのまま放置されていることがよくあります。このような事例に対して、有機金属化学やヘテロ元素化学での最先端の知見をもとにした「反応開発」によって、有機化学を深め、発展させながら、ライフサイエンス研究を加速させる手法の開発に取り組んでいます。特に、ふとしたときに思いつくような“ちょっとした発想”を大事にして、他の研究者はきっと思いつかない、独創的な研究を行ないたいと思っています。こういったコンセプトを掲げ、「クリックケミストリーを制御して利用する方法」、「カチオン性中間体や高歪み中間体といった高活性化学種を経る変換」、「含ヘテロ元素化合物の新規合成法」の開発について研究しています。これらの研究において、ロータリーエバポレーター、冷却水循環装置、マグネチックスターラー付低温恒温水槽、送風定温乾燥器などの多数のEYELA製品を使用しています。

選定理由

メンテナンスなどのアフターケアの手厚いサービス。

どの装置も有機合成をするために必要不可欠な機器です。品質が良いことに加え、メンテナンス等に関するアフターケアの手厚さから、EYELA製品を愛用しています。有機合成化学の研究室を長年支えてきた実績が秀でていることは、EYELAの特筆すべき特徴です。

使用して

ロータリーエバポレーターについては、前任の堀戸研究室でもEYELA製品を使用していました。堀戸先生が残していただいた年季の入った機器も、メンテナンスして利用しています。そのメンテナンスやセットアップの際にもEYELAの営業の方、技術の方がとても協力的で、研究室の環境づくりにおいて大変お世話になっています。

当社に望むこと

各種装置のメンテナンスやアフターケアでのきめ細かさは、日本の会社の強みだと思っていますので、今後も続けてくださると大変助かります。また、研究者の声を拾い上げ、研究生活を効率化できるような新しい装置を製品化してくださることを期待しています。特に、日本の研究室によく見られる狭い空間を、有効活用できるような省スペース型の機器の開発に力を入れてくれるとうれしいです。



使用製品 | DATA

マグネチックスターラー付
低温恒温水槽
PSL-1400型

23-25 総合カタログ P.191

ロータリーエバポレーター
N-1110V-W型

23-25 総合カタログ P.43

※後継機種：N-1300V-W型

